

◆「いばらき能」関連イベント

# 能

## NOH

# 体感講座

写真：能「土蜘蛛」より

## 【体験編】

### 「挑戦！はじめての能」

「謡」「舞」「能面」「装束」「楽器」・・・能を構成するそれぞれの要素について、実際に体験していただくことにより能への理解を深めていただくプログラムです。  
ご家族と一緒に挑戦してください！

#### ◆開講日及び内容

- ① 1月31日(土) 「謡・舞の解説と体験」
  - ② 2月11日(水祝) 「楽器の解説と体験」
  - ③ 2月28日(土) 「能面・装束の解説と体験」
- 時間：各日とも午後2時～午後3時30分

#### ◆会場

茨木クリエイティブセンター2階・多目的ホール  
〒567-0888 茨木市駅前四丁目6番16号 072-624-1726  
JR茨木駅から東へ徒歩10分、阪急茨木市駅から西へ徒歩10分

#### ◆講師

- 山本章弘(観世流能楽師)①③
- 中田弘美(能楽師金春流太鼓方)②
- 古田知英(能楽師幸流小鼓方)②

#### ◆対象・定員

小学生以上の方。定員各回20人。1回だけの参加も可。  
\*靴下、または足袋をご持参ください

#### ◆受講料

1回500円

#### ◆お申込み・お問合せ

(公財)茨木市文化振興財団・文化事業係  
☎072-625-3055(ユアアイホール1階 午前9時～午後5時)  
\*12月6日(土)午前9時から電話予約開始  
\*受付初日(12/6)は電話予約のみ。予約後は1週間以内に下記のチケットカウンターでご精算ください。定員に達しない場合は翌日から下記のチケットカウンターでも受け付けます。  
①ユアアイホールチケットカウンター(午前9時～午後5時)  
②クリエイティブセンターチケットカウンター(午前9時～午後5時)

◆主催：公益財団法人茨木市文化振興財団 ◆制作：公益財団法人山本能楽堂／三栄企画 ◆後援：茨木商工会議所／茨木市観光協会

## 【入門編】

### 「3・15いばらき能をより楽しむために…」

3月15日公演の「いばらき能～土蜘蛛」の事前講座ですが、初めての方も楽しみながら学べる入門講座となっています。日本を代表する伝統芸能「能」の世界へ、あなたをやさしく誘います。

#### ◆開講日

3月8日(日) 午後2時～午後3時30分

#### ◆会場

茨木クリエイティブセンター2階・多目的ホール  
〒567-0888 茨木市駅前四丁目6番16号 072-624-1726  
JR茨木駅から東へ徒歩10分、阪急茨木市駅から西へ徒歩10分

#### ◆内容

- ①能のお話し ②3・15いばらき能の演目解説 ③DVD鑑賞
- ④謡の体験 等

#### ◆講師

山本章弘(観世流能楽師)

#### ◆定員

150人(就学前のお子様はご遠慮ください)

#### ◆受講料

500円

#### ◆お申込み・お問合せ

(公財)茨木市文化振興財団・文化事業係  
☎072-625-3055(ユアアイホール1階 午前9時～午後5時)  
\*12月6日(土)午前9時から電話予約開始  
\*受付初日(12/6)は電話予約のみ。定員に達しない場合は翌日から下記のチケットカウンターでも受け付けます。  
①ユアアイホールチケットカウンター(午前9時～午後5時)  
②クリエイティブセンターチケットカウンター(午前9時～午後5時)

#### ◆その他プレイガイド(12月6日店頭販売あり 午前10時～)

ローソンチケット0570-000-777  
Lコード予約0570-084-005(Lコード52065)  
\*ローソン、ミニストップ各店舗で直接購入可

伝統世云能、出云の楽しみ

関西から

文化力  
POWER OF CULTURE

【講師】山本章弘(やまもと・あきひろ)

昭和35年11月生まれ。幼少より父、故山本眞義に師事し、昭和58年、故25世宗家観世左近に入門。昭和63年独立。現在26世宗家観世清河寿に師事。3歳にて初舞台。主な抜曲は「石橋」「猩々乱」「道成寺」「望月」「翁」「安宅」「砧」など。海外公演は、米・ワシントン、インド、オーストラリア、イタリア、フランス等に参加。公益社団法人能楽協会理事。重要無形文化財保持者総合指定。日本能楽会々員。関西大学文学部卒業。関西大学及び大阪樟蔭女子大学能楽部講師。観世流発祥の地・奈良県結崎にある川西小学校の総合学習の能楽講師をつとめるほか、「アートによる能案内」「能とあそぼう」など、子ども達へ能楽の普及に努める。公益財団法人山本能楽堂代表理事として、「とくい能」「上方伝統芸能ナイト」などの新事業を立ち上げ、あらゆる世代に向け新たな能の魅力を伝えるべく、積極的に普及活動を行っている。「大阪文化祭奨励賞」「なにわ大賞大阪21世紀協会賞」などを受賞。

●山本能楽堂公式ホームページ<http://www.noh-theater.com/>



茨木市文化振興財団第179回公演

[12月6日予約開始]

# いばらき能 — 「土蜘蛛」 TSUCHIGUMO

- ◆平成27年3月15日(日) 午後2時開演(午後4時30分終演予定) ◆茨木クリエイトセンター・センターホール
- ◆[全席指定] 一般3,000円/65歳以上、障害者及びその介助者2,500円/青少年(24歳以下) 1,000円
- ◆演目 ◎見どころ解説 ◎仕舞「桜川」 山本章弘 ◎お囃子解説 ◎狂言「鐘の音」 小笠原 匡  
◎能「土蜘蛛」 山本章弘

## 【土蜘蛛あらすじ】

病に伏せっている源頼光(ツレ)がふと庭先を見ると、どこから現れたのか怪しげな僧(前シテ)が立っています。お前は誰かと問答をしていたかと思うと、ずっと頼光のそばに近寄り、突然蜘蛛の巣糸を投げかけてきます。とっさに頼光は枕元においてあった刀で糸を払いのけ、怪僧は傷を負い逃げ去りました。(中入)

物音を聞き急ぎ駆けつけた独武者(ワキ)に、頼光はこの事を語ります。驚いた独武者はその正体を暴こうと、血痕をたどり葛城山に到ります。舞台には塚の作り物(大道具)が出されます。大道具には「引廻(ひきまわし)」という大きな布がかけられており、怪しさを一層強調しています。

岩陰より土蜘蛛の精(後シテ)が現れ、巣糸を投げかけ投げかけ武者たちに襲い掛かってきました。戦いの末、ついには土蜘蛛を退治し、帰路に着くのでした。

## 【見どころ】

「汝知らずや我昔 葛城山に年を経し 土蜘蛛の精魂なり」

登場する源頼光は、一条戻橋や羅城門で鬼を斬った渡辺綱や金太郎としても知られる坂田金時たちを「頼光四天王」として従えた平安時代を代表する勇将です。歴史的には「よしみつ」と読むのが正しいのですが、能では敬意を払って「ライコウ」と音読みされ(安倍晴明[セイメイ]や藤原定家[テイカ]などと同様)、この《土蜘蛛》のほか《大江山》にも登場し、まるで鬼退治のエキスパートとでも言うべき存在として描かれます。

本来「土蜘蛛」とは、古代に大和朝廷に反抗した土着の豪族たちのことを、貶めて歴史書に記した名前です。その土蜘蛛を実際の蜘蛛の怪物として登場させたのが、この能《土蜘蛛》で、見た目にはショー的で派手な演目ですが、その裏に歴史の中に葬り去られた土蜘蛛たちの鎮魂の意味も込められているのです。

## ◆お申込み・お問合せ

茨木市文化振興財団・文化事業係 ☎072-625-3055(午前9時～午後5時)  
〒567-0888 茨木市駅前四丁目7番50号 茨木市市民会館1階

◆クリエイトセンター(茨木市市民総合センター)茨木市駅前四丁目6番16号/072-624-1726

